

屋内用負荷開閉器(LBS)

1 機種選定

1.互換性

当社製LBSは、1969年製作のものから、現在のEシリーズまで取付に互換性があります。

2.他社製品からの置換え

他社製のLBSを当社製に置き換える場合は、LBS本体の寸法、取付ピッチが異なりますので、高圧交流負荷開閉器カタログ(K-K06-4-C6794)の外形寸法、据付寸法をご参照ください。また、ヒューズ付LBSの場合は、必ずヒューズとLBSをあわせて更新ください。ヒューズとLBSは同メーカーのものを使用しないとヒューズとLBS間の協調が取れません。

4.絶縁バリヤの取付について

小動物対策や感電防止に絶縁バリヤを取付けると効果的です。更新の際は絶縁バリヤの取付けを推奨致します。EシリーズLBSでは、ワンタッチで簡単に取付可能です。

3.取付方向

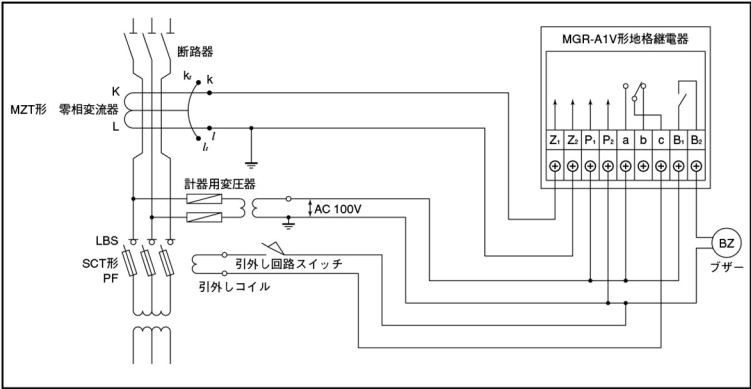
2005年から製作開始の《Eシリーズ》LBSは、フック棒操作・遠方手動操作・電動操作の全ての機種が[垂直][水平下向]共用取付です。

※《Eシリーズ》以前の機種については、[垂直][水平下向]は別仕様です。

2 更新時の注意事項

1.トリップコイルの焼損防止(SCT形・電圧引外し装置付LBS)

電圧引外し装置付LBSは、電圧引外しコイルがAC/DC共用となっていますが瞬時定格ですので、右図のようにAC別電源(LBS一次側から供給)またはDC電源で操作される場合は、必ず引外し回路用補助スイッチを操作回路に入れて、引外し後に電流を遮断する必要があります。



制御電源をLBS一次側から取った場合

3 屋内用負荷開閉器変遷表(代表例:SCL・SCT形 ヒューズ可動形)

その他の仕様については更新の手引き(K-K06-6-C7302)をご参照ください。

旧形既納品						切替推奨品					
製作 期間(年)	形名	形番	ストライカ の有無	組合せ ヒューズ リンク	適用 ヒューズ リンク定格	形名	形番	ストライカ の有無	組合せ ヒューズ リンク	適用 ヒューズ リンク定格	互換性
1969～1972	SCL もしくは SCT	A	なし	CL形 (形番一)	G5～G60A	SCL もしくは SCT	EHS1R (Eシリーズ)	あり	CL形 (形番LB)	G5～G75A	○
1972～1978		D	なし								○
1978～1980		J	なし								○
1978～1984		CZ	なし								※○
1981、1982		S	あり	CL形 (形番LB)	G20～G60A						○
1983～2005		SB	あり		G5～G75A						○

※SCL-CZは、取付ピッチは同一ですが、端子の位置が異なります。